



東日本大震災



公共施設も大きな被害



市文化センター大ホールの天井が崩落



※ 震度は、3月30日に気象庁から発表された観測データ精査後の震度です。

なお、茨城県内で常陸大宮市以外に震度6強を観測した自治体は次のとおり。

日立市・高萩市・笠間市・那珂市・小美玉市・筑西市・鉾田市

3月11日、午後2時46分頃、マグニチュード9.0を記録する地震が東北地方太平洋沖で発生。関東・東北地方で電気・水道などのライフラインが止まり、津波が発生するなど、甚大な被害をもたらしました。

震度が最大だったのは宮城県栗原市で震度7を観測。常陸大宮市では震度6強が観測されました。

地震発生後、市は災害対策本部を設置。家屋が被害を受け、自宅にいたことができない市民の方のための避難所となった市役所本庁舎には、581人の方が避難

し、余震が続くなか、不安な夜を過ごしました。

市内では、幸いにも死亡者はいなかったものの、地割れ、陥没、土砂崩れが各地で見られ、損壊した建物は10000棟以上に上りました。また、建造物に至っては多くの塀が崩れ落ち、墓石が倒壊したり、公共施設の天井が崩落したりするなど、大きな被害をもたらしました。



望楼が倒壊し、消防本部の事務所を直撃



御前山小学校体育館の天井も崩落

常陸大宮市は 震度 6 強

—東北地方太平洋沖地震—

581 人が市役所本庁舎で夜を明かす



市役所本庁舎に市民が避難

水、食事、燃料に行列

給 水



市文化センターを囲むように長蛇の列ができました

配 給



市役所で行われた炊き出しは 5 日間で 11 回

燃 料



給油を待つ車列の長さは約 1 キロにもなりました



ガソリン携行缶を持って給油所に並んだ方もいました

各地域で土砂崩れ、倒壊、陥没、地割れ、落石



土砂崩れにより道路が通行止めに



倒壊した甲神社の鳥居



駐車場の一部が陥没



屋根瓦破損



地割れ



塀が倒壊



落石により通行不可に



線路上に停車したままの水郡線車両



水を確保するために川へ



断水が長引いた地域には給水車が出勤



自衛隊による給水



三次市長、災害現場へ

東日本大震災 ～常陸大宮市のデータ～

平成23年3月31日現在

避難状況	避難所11カ所 延べ1,595人		
炊き出し	8,800食 3月12～16日		
建物被害	全壊	2棟	
	半壊	16棟	
	一部破損	1,053棟	
通行止め	県道	4カ所	下小川停車場線（盛金）3月31日復旧 常陸太田那須烏山線（上檜沢） 山方水府線（諸沢） 山方常陸大宮線（辰ノ口）
	市道・農林道	18カ所	・大宮地域 4カ所 ・山方地域 6カ所 ・美和地域 7カ所 ・緒川地域 1カ所 ・御前山地域 なし

常陸大宮市災害対策本部調べ